令和4年度　県P連郡市町P連会長研修会

# 役割の明確化が求められている!!

アイスブレイクで盛り上がって

**ＰＴＡは本当に必要なのでしょうか？**
**ＰＴＡの果たす役割とは何でしょうか？**

私は、ＰＴＡの役割の中には「子どもたちが将来、保護者・先生のサポートがなくても生きていけるようにする」という目的があると考えています。

では、その目的を達成するためには、どのような活動を単位ＰＴＡ（以下：単Ｐ）で行わなければならないのでしょうか。近年、様々な所で話題に上がっているＰＴＡの役割について、各郡市町ＰＴＡ連合会（以下：郡市町Ｐ連）会長・母親委員長の皆さんと研修会を実施し、真剣に意見交換を行いました。

長崎県ＰＴＡ連合会
会長　松本（まつもと）光生（みつお）

その中で、「単Ｐでは、（前述した）本来の目的に沿った活動がなされているのか」「活動の見直しが必要である」という意見が上がり、「その見直しのサポート役に各郡市町Ｐ連が力を発揮しなければならない」ということを確認しました。

また、地域によっては「ＰＴＡの役割を見直してほしい」というご意見もあります。そのご意見に対してもしっかりと向き合い、耳を傾け、長崎県全体の課題として長崎県ＰＴＡ連合会（以下：県Ｐ連）が情報を発信し、意見交換を行うことが、よりよい子どもたちの教育環境を整えることにつながると信じて、今後の活動を後押ししていきたいと思います。

会長の講話を真剣に聞き入る参加者の方々

今回の研修会では、各郡市町Ｐ連会長・母親委員長の皆さんから様々なご意見をいただき、**単Ｐ・郡市町Ｐ連・県Ｐ連の役割を明確にすること**が、子どもたちの教育環境の充実と、現代の保護者・先生方の生活スタイルに合ったＰＴＡ活動の推進に繋がることがわかりました。今後も研修会等を通して、様々な課題について、各郡市町Ｐ連会長・母親委員長の皆さんと活発に話し合ってまいります。

## 熱い気持ちで！ ～今ＰＴＡに求められるもの～

長崎県ＰＴＡ連合会母親委員会
副委員長　川原（かわはら）陽子（ようこ）

県Ｐ連郡市町ＰＴＡ連合会会長研修会に、東彼杵郡ＰＴＡ連合会の母親委員長として参加しました。

コロナが蔓延し始めて以来、様々なＰＴＡ活動が思うように行われない中で、ＰＴＡの存在意義を問い、今後の活動の展望を図るための重要な研修会であると感じました。

「ＰＴＡは必要なのか」「郡市町ＰＴＡ連合会は必要なのか」「母親委員会は必要なのか」という難しい議題。正解はでない議題なのですが、役員の皆様の、『子どもたちや保護者のために』との熱く真剣な討論に終始圧倒されてしまいました。

ＰＴＡ活動はボランティアであり、強要されるものではありません。昨今の少子化や生活環境の変化などによって、従来どおりの活動をしようとすると、保護者の方々にかなりの負担がかかります。そうであるからこそ、活動内容が大事であり、学校・親・子ども、そして地域との意見交換や情報共有が不可欠なのではないか。保護者の方々が、ご自身なりに協力できることに参加して子育ての参考にする。そのためのＰＴＡや連合会なのではないかなど様々な意見が飛び交いました。

全保護者が、ＰＴＡに参加したいと興味をもってもらえる体制作りが必要になってくると思います。私は子育てには『人が人を育てる』という理念が必要だと考えています。子どもが多くの人と交流する意思（意志）を持ち、正誤の判断能力を高め、感情のコントロールを培う。大人になった私たち保護者も然りではないかと。『みんなで子育てができるＰＴＡっていいな』という声が聞こえてくるように、今年度の役職を務めていこうと思います。

## 会長研修会に参加して

対馬市ＰＴＡ連合会
会長　播磨（はりま）孝記（たかのり）

今回の会長・母親委員会合同研修会では、初めての試みで男女3名ずつ6名がテーブルを囲んで討論するという形をとりました。

初めてお会いする方ばかりで最初は固くなっていましたが、最初の議題『ＰＴＡの任意加入問題』で討論が始まると、それぞれが考えや思いをぶつけ合い、次第に緊張もほぐれてきました。「最初に会長がＰＴＡ加入の意義を説明する必要がある」「加入しない家庭の子どもに不利益が生じてはいけない」「楽しく明るいＰＴＡであれば入りたくなるのでは」等々。

次に『ＰＴＡは必要なのか』という議題で討論しました。「単Ｐはあっていいが、県・市Ｐ連はいらないのでは」「ＰＴＡ事業を外注してはどうか」「ＰＴＡがなくなったとしても、結局保護者の力が必要な場面が生じ、同じような団体が生まれるのでは」等様々な意見が出ました。結論としては、子どもたちが学校ではどんな生活をしているのか、どんな友達がいるのか、先生方はどんな人なのか等、情報共有の場として、さらに保護者が相談相手を作れる場として、ＰＴＡは必要だという意見が圧倒的に多かったです。

私は思います。子どもが子どもでいる時間はあっという間に過ぎていきます。子どものいる生活は人生のゴールデンタイムです。その時間を皆様には大切にしてほしいと思います。やりたいと思った時にできないのがＰＴＡです。子どもが与えてくれた、人と人との縁を作ってくれる大変貴重な時間です。私も一生付き合える友人がＰＴＡを通してできました。熱心にすればするほど子どもも喜んでくれるし仲間もできます。人生を豊かにする活動を子どもが作ってくれたんだなと思っています。今その時間を大切にして笑顔で過ごしませんか。きっと子どもにもその思いは伝わり、まっすぐに育ってくれると思います。やらないよりやった方がきっといいと思います。無理をしない程度に自分のできる時にできる範囲で。それがＰＴＡの本質だと思っています。

## さざなみ

学校において、一人に一台のタブレット端末が配付されるなど、子どもたちの学習環境や生活環境が大きく変化しています。私たちが子どもの頃と比較すると、とてつもない変化です。子どもたちのより良い成長のためには、この変化に私たち大人もしっかり対応しなければならないと最近よく考えています。

私たちが子どもの頃の夏休みの生活は、外で友達と遊び終えると、夕方からの時間は家族と過ごすのが普通でした。友達とは昼間の時間しか遊べませんでした。

最近の子どもたちは、携帯電話やパソコンの普及により、オンラインゲームやメール、ラインなど夜中でも遊んだり、会話したりすることができるのです。私たち大人は、このいつでもどこでも遊べる状況に制限をかける必要があります。

これからは、子どもたちの環境の変化に対応する大人の対応力がさらに重要になってくると考えます。子どもたちの健やかな成長のために、私たち大人が果たすべき役割をしっかり果たしていきたいですね。

北松浦郡
小値賀（おぢか）中学校ＰＴＡ
会長　堀（ほり）則昭（のりあき）

◇編集の基本方針◇

❶会員相互の親睦と、意思の疎通を図るため、会員の意見や情報交換を重視して編集する。
❷子どもの健やかな成長を願い、保護者と教師の研修の資料を提供する。
❸一党一派の思想・信条または政策等に偏することなく、政治的、教育的中立を確保する。

訂正

県Ｐ新聞7月号3面　令和4年度正副母親委員長の名前のふりがなに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正　母親副委員長「田島陽子（たしまようこ）氏」（大村市ＰＴＡ連合会）
誤　母親副委員長「田島陽子（たじまようこ）氏」（大村市ＰＴＡ連合会）

長崎県ＰＴＡ新聞

発行所
長崎県ＰＴＡ連合会
〒852-8014
長崎市竹の久保町12－9
TEL　(095)861-9004
　　861-9022
FAX　(095)861-8945
URL https://nagasaki-pta.jp/

発行人
会長　松本光生

印刷所
株式会社岩永印刷所
長崎市弥生町8－30

# 県P連が行く！ 第1回

県P新聞の新しい企画として「県P連が行く」が始まります。これは、県P連会長が県内のＰＴＡ関係者や行政、教育関係団体のみなさんと率直な意見交換を行い、連携を図っていこうという趣旨で始めました。

## 県P連会長・県校長会長との対談

第一回目は、長崎県校長会の髙坂英晃会長（長崎市立梅香崎中学校校長）と対談を行いました。その内容については、長崎県ＰＴＡ連合会のホームページに掲載しています。ここでは、対談の概要をお伝えします。

### 県校長会とは

6月29日、松本県P連会長は、県校長会の髙坂会長と対談を行いました。田崎県P連副会長も同席し進行役を務めました。

はじめに、髙坂県校長会長から県校長会とはどのような団体かについて説明がありました。

・公立小中学校の校長を会員とする教育関係団体である
・小中学校の教育の充実を図るために協働して研究と実践を重ねている

**県校長会の5つの課題**

1. **生命を尊重する教育の充実。** コロナ対策、不登校の対策、特別支援教育等
2. **学習指導要領の趣旨と時代背景を踏まえた教育の充実** GIGAスクール構想の展開、部活動の地域移行、学力向上
3. **社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメントの推進** 社会に開かれた教育活動の展開、地域全体で人材の育成
4. **働き方改革の推進** 教職員の処遇改善、少人数学級実現、魅力ある学校づくり、職場環境づくり
5. **教師力の向上** 教職員の資質能力の向上、研修の充実

松本会長からの「今、一番大きな課題といったら何ですか」という質問に対して、髙坂県校長会長は、「全部に共通した課題といえば、人手不足・人材の育成です」と答えました。

### 教師の魅力

「先生のなり手不足」については、ブラックな職場などといわれるような負の連鎖で人手が不足しているというわけではなく、情報化社会になって、子どもたちが夢を抱く職業が多くなったということも影響していると髙坂県校長会長は述べています。

他の職種、職業の方たちに勝るぐらい先生の魅力を発信していかないと、人手不足は解消されないということから、松本会長が先生の魅力について質問しました。

それに対して、髙坂県校長会長は「仕事で感動が得られることだ」「仕事で感動して涙するという機会を得られる職は、そんなにない。たとえば、九の苦しみがあっても、一つの感動があれば一生やっていける」と答えました。

### 保護者と先生がつながる学級ＰＴＡ

先生という職の魅力をアップするためにも、保護者と先生がつながることが大切であるという共通認識のもと、髙坂県校長会長は、「協働するとは、保護者と教師がいつも一緒に同じことをするのではなく、共通の目標に向かってそれぞれの役割を明確にして、特長を生かしていくのが大事だ」と述べました。

それを受けて、松本会長は「先生と保護者がつながりをもつことが子どもたちの将来にとってプラスになると感じた。正直なところ、保護者は先生方とつながりたいと思っているが、先生方はどうなのかなという気持ちがあったが、やはり子どもを健やかに成長させたいという共通の目標があって、そのためには先生方も保護者に協力してもらいたいと思っている。つながりの大切さがよく分かった」と応じ、つながる具体的な方法として、学級ＰＴＡの充実を挙げ、今後、県P連と県校長会がそれぞれの立場から取り組むことを提案し、髙坂県校長会長も同意しました。

### 今後の連携

対談の後、部活動の地域移行の課題についても、今後、連携を図ることを確認しました。

詳しくはコチラから

長崎県PTA連合会 会長
松本（まつもと） 光生（みつお）

×

長崎県校長会 会長
髙坂（たかさか） 英晃（ひであき）
（長崎市立梅香崎（うめがさき）中学校校長）

## 県P・九P研究大会提言単位PTA研修会

8月6日（土）ホテルセントヒル長崎にて研修会が行われました。この研修会は、研究大会2年前研修として、今年で4回目の研修会となりました。

今年度の研修会は県Ｐ雲仙大会・諫早大会、九Ｐ佐賀大会・福岡市大会で提言発表をする13単位ＰＴＡの会員23名が参加しました。

そろばんパチパチ
ひらめく力
育てます
公益社団法人 全国珠算教育連盟 長崎県支部
事務局/〒850-0048　長崎市上銭座町7番22号　☎ 095-846-9147
FAX 095-846-7437

学校法人 通信制課程 連携
鹿島朝日高等学校
長崎・佐世保・諫早キャンパス
多数の芸能活動者、アイドル、スポーツ選手、社会人が卒業を目指している
今の時代だから通信で高校卒業！
キャンパスは全て駅近！
充実のオプションコース
専門分野の資格も取得しながら高卒資格を取得しよう！
大学進学コース　海外留学コース
声優コース　マンガ・アニメコース
就業支援コース　ネイル・メイクコース
スポーツコース　ダンス・ボーカルコース
ペットコース　ITコース
転入・編入 随時受付！（学校説明会）
入学相談会開催！3校同時開催
要予約 10:00〜17:00
個別指導にも集団 一斉授業にも対応！
無理なくできる高校卒業 ご相談ください！ ※高校生の転校も可能です。
中学生説明会実施中！ 要予約 10:00〜17:00
生活保護・ひとり親・コロナにより影響をうけたご家庭に 学費軽減制度有り！
コロナ感染予防対策でタブレット添削
学校法人鹿島朝日高等学校 通信制課程 連携　入学相談室 ☎050-6860-3288
長崎校 長崎市中町5-18 2F　佐世保校 佐世保市三浦町1-13 7F　諫早校 諫早市永昌町9-9 KRP永昌ビル3F


広げよう「家族0分間読書運動」

県教育委員会では、家族が一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりする

令和4年度

# 三行詩

## 県P連優秀作品が決まりました

おめでとうございます

応募総数
小学生の部 756点
中学生の部 569点
一般の部 69点
合計 1,394点

### 小学生の部

●佐世保市立福石小学校　1年　須藤 佑華

いもうとが
うまれて　わがやは
どうぶつえん

●佐世保市立山手小学校　1年　山下 善裕

ぎゅうってするのすき
ぎゅうってされるのすき
ままがいう　いつまで
ぎゅうってできるかな

●佐世保市立大久保小学校　1年　釣谷 妃菜

おかあさん　ぎゅーしてっていうと　またっていわれるけど
おかあさんのぎゅーはからだも　こころもあたたかくなるんだよ。
これからもまいにちぎゅーしてよ。

●佐世保市立日野小学校　1年　村上 ひより

おいしいごはんは
かぞくのたのしいかいわで
もっとおいしくなる
かいわはみんなの
まほうのスパイス

●島原市立第三小学校　4年　池田 色羽

いつもけんかばかりしている
お兄ちゃんへ　高校入学おめでとうの手紙を書いた
なにも言われなかったけど
顔はにっこり笑ってた
手紙ってなんだか　あったかくていいな
また書くね

### 中学生の部

●長崎市立片淵中学校　2年　野島 大桜

ぼくは
テストの勉強中。
父は
資格の勉強中。
母は
推しの勉強中。

●佐世保市立広田中学校　1年　久野 希

なんでもないって言ったのに
その優しい暖かさに包まれると
どうして涙があふれてくるのだろう

●佐世保市立吉井中学校　2年　八波 亜槻

家族がきらいな時がある
だけど、一番の宝物
これからも一生の宝物

●諫早市立琴海中学校　2年　佐藤 七海

お母さんはよく言っている。
「小さいままでいいよ」「大きくならんでいいよ」まじないをかけるように言っている。
本当にかかっているのか今も私は小さいまま　母さんよそのまじないもうやめてやっぱり私は大きくなりたい。

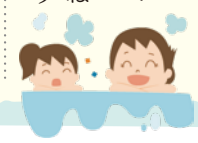
●諫早市立琴海中学校　1年　白石 優奈

せっかくの　休日なのに
仕事の電話　母をとられて
ちょっと淋しい

### 一般の部

●長崎市立橘小学校PTA　麻生 恵

お風呂できかせて　今日のことたのしい！うれしい！
がんばった!!　くやしいことも　あったよね
ママのも少しきいてよね
元気な1日　ありがとう



●佐世保市立中里小学校PTA　吉村 美起

いってらっしゃい
この一言にたくさんの想いをこめて送り出す
いつもあなたの味方だよ

●諫早市立喜々津小学校PTA　木下 直子

「ママ　元気ないねー!?」
少しのくもり顔も見逃さない
子供ハンターに「そんな事ないよ！元気だよ！」と
たった今元気もらった

●雲仙市立愛野小学校PTA　柴田 理衣

毎週日曜朝8時
我が家の一週間の
夕ごはん会議開催
「私　オムライス」
「ぼくは　からあげ」
「ママのごはん大すき」
また　今日も
頑張れます。

●雲仙市立愛野小学校PTA　原永 智子

イヤイヤ期　ギャング時代
反抗期だって想定内
心はあなたのそばにある

第70回 日本PTA全国研究大会

# 山形大会

分科会 8.26(金)　全体会 8.27(土)

「人とひとのつながりを体感しよう!」
～あがらっしゃい精神の山形から～

## 日本PTA全国研究大会 山形大会「全体会」

長崎県PTA連合会
副会長　曽和 英徳

8月26・27日、日本PTA全国研究大会が山形の地で開催されました。この大会は社会教育や家庭教育、そしてPTA活動に資するために開催され、各分科会ではそれぞれのテーマのもと、その想いが共有されました。その集大成として最終日の全体会では多くの会員と共に、これからのPTAに想いを馳せる時間になったと感じています。

オンライン開催という開催方法も時には有効ですが、コミュニケーションはどうしても不足します。コロナとの戦いの中で批判もありますが、3年ぶりにリアル開催となり、参加した者としては、さまざまな取り組みを肌で感じることができ、今後の大会の在り方についても考えさせられ、非常に参考になった大会でした。

日P金田淳会長の挨拶の中で、「今の子どもたちを取り巻く環境と、そこに私たちPTAがどのようにコミットしていくのか」という話がありました。「子どもたちが学ぶ環境の課題は複雑化しており、これは社会全体で支えていかなければならない。まさにPTAと学校、地域、そして関係諸団体との本当の意味での連携が必要不可欠となる。教育の原点は家庭であることに間違いないが、経済的にも精神的にも余裕がもてない中、保護者の集まりであるPTA活動も厳しさを増している。問題解決のためにも全国会員の声を聞きながら、取り組んでいきたい」とのことです。今後の取り組みに期待したいと思います。「今も昔も子どもたちへ未来を託す気持ちに変わることは無い」という言葉が印象的でした。

全体会のメインは、記念講演と記念演奏会でした。世界的指揮者で山形交響楽団の常任指揮者、飯森範親氏の大会テーマに迫る講演とすばらしい演奏の余韻とともに山形大会が終了しました。

特別第2分科会

## メディア・リテラシー育成における学校教育と家庭教育の役割
## ～子供たちへのメディア・リテラシー教育を考える～

長崎県PTA連合会
副会長　鮎川 徹也

基調講演で信州大学佐藤和紀准教授から「人口が減るこの時代に子どもたちに必要な力とは何か。現代社会では、たくさんのメディアから日々大量のメッセージや情報があふれています。その情報を主体的に判断し、また活用する能力を身につけていかなければなりません」とお話をいただきました。特に印象深かったのが、「メディアを排除することはできない、大人がきちんとメリット・デメリットを子どもに説明し、仮に失敗があっても禁止するのではなく、きちんと話し合って教えることが大事」というところでした。子どもにとって失敗体験も成長につながる貴重な体験です。現代では、ちょっと壁にぶつかるとすぐに諦める・打たれ弱い・失敗を恐れて新しいことに挑戦しない若者が多い傾向が見られるといいます。今の子どもたちが30年後の社会を生き抜くために我々ができることはなにか、今一度考えさせられる講演でした。

その後のパネルディスカッションでは、三つの学校でのメディアに関する取り組みの実践発表があり、それに対して意見交換が行われました。こちらで印象に残ったのが、「Noメディア」から「Withメディア」へと考え方を変えるということでした。近い将来、ありとあらゆる物がデジタル化され、常にネットとつながっている時代になるでしょう。メディアからも逃げられません。「Withメディア」で上手に付き合っていくしかないのです。子どもにとって、メディアは学習や息抜きに利用できる便利で楽しいツールです。その反面、使いすぎるとさまざまな悪影響を及ぼします。メディアは、あくまでもツールに過ぎない。それを理解した上で、親子で一緒に利用の仕方を考え、行動していきたいと思いました。

# いぶき

## 自分のことを自分で決める

県人権・同和対策課

「ねぇ、何して遊んだらいい？」と子ども自身で決められない。水で割るジュースを作るとき「水はどれくらい入れると？」と試す前から聞いてくる。皆さんのお宅では、このようなシーンはないですか。たくましく育ってほしいと思いながらも〝転ばぬ先の杖〟と先回りして、いつの間にかたくさんの指示を出したり親が決めたりしているのかもしれません。

「**こども基本法**」が、令和5年4月1日に施行されます。この法律は、子どもを「権利の主体」として捉えるもので、例えば、その子に関係することを大人が勝手に決めるのではなく本人の意見を聞きながら、最も良い方法を考えていくことを大切にしようとするものです。自分のことを決められるようになるには、日頃から自分で考えて決めるという経験が必要です。そこで、これまで「明日は7時に起きなさいよ」と言っていたのを「明日は何時に起きる？」と尋ねる、また「早く勉強しなさい」と言いたくなる場面でも「これからの予定は？」と子どもの考えを聞いてみるなど、言葉かけを少しだけ変え最善策を共に考えてみるというのはどうでしょうか。また、このように気持ちや考えを尋ねられると、自分のことを大切にされていると感じるので自己肯定感が高まるし、相手の意見を聞いたり大切にしたりできるようになるとも考えられます。今日からすべてを変えることは難しいですが、少しだけ意識して各家庭で、できる時にできることから始めてみてはいかがでしょうか。

# 単Ｐ活動紹介

## 時代の流れと共に変化へ取り組む育友会活動

長崎市北陽小学校育友会
会長　藤田　進

当育友会の活動の変化としまして、大きく三つの項目に分かれております。

一点目は、昨今の家庭数減少や役員の負担の過多や偏りによる改善を目的に、一昨年から育友会活動の効率化を掲げ、会員アンケートを実施し、専門部組織の統合を実施しました。専門部ごとの作業量を均等化し、専門部数を減らすことで役員や部員数の削減につながり、役員に公平性と充実感そして、複数回の役員選出の回避につながりました。

二点目は、コロナ禍においても育友会活動を止めることのない対策として、会議における検温・消毒・会場の配置やリモートの活用を実施し、学校行事に際しては、運動会での密を避けるために、運動場と体育館を映像でつないで放映するパブリックビューイングも実施しました。

三点目は、一昨年度から新入学児保護者への育友会活動紹介や任意加入・会費の使途説明を十分に行い、育友会活動に同意を得るために入会申し込みをいただくようにし、併せて個人情報取扱同意書もいただいております。

時代の変化と共に、私たちの育友会活動も変わりつつあると思います。しかし、まだ改善できることは多数あるはずです。ただし守らなければいけないことも忘れないようにしたいと思います。

地域の方々からの
私の似顔絵プレゼント

子どもたちの健全育成と私たち大人たちのつながり、そして親としての成長の場であるということを日々意識して今後も育友会活動に励んでいきたいと思います。

広報紙による私と学校職員紹介

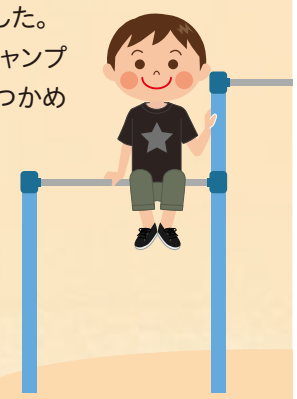
# 子どもの目と声

## ぼくのお気に入りの場所

壱岐市　瀬戸小学校
4年　久間　琉偉

ぼくの通う瀬戸小学校には、高さのちがう高鉄ぼうがあります。身長が高くないぼくは、低い方の高鉄ぼうにも手がとどきませんでした。

「ぶらさがってみたいな」そう思って、毎日のようにジャンプしていました。3年生になって、指が少しだけ鉄ぼうをつかめるようになり、昼休みが楽しみになりました。



4年生になり低い方の高鉄ぼうをつかめました。なんとかよじ登って、高鉄ぼうの上にすわりました。運動場で遊んでいるみんなを上から見わたしました。初めて見るけしきでした。今は高鉄ぼうがぼくのお気に入りの場所です。

今はまだ、高い方の高鉄ぼうはつかめません。そつ業するまでには、高い方の高鉄ぼうにもよじ登れるようになりたいです。高い方の高鉄ぼうから見るけしきが楽しみです。

## 両親に見せたい景色

五島市　崎山中学校
3年　白岩　蓮望

私の将来の夢はカーデザイナーです。夢のきっかけは、父の働く姿でした。

父は車の修理関係の仕事をしています。父は仕事の時以外でも、お客様から修理の依頼がくるとすぐ駆けつけます。その姿を見て父はお客様に信頼されていているんだと思いました。その影響もあり、私は小さい頃から車に興味をもつようになりました。

最近では自動車会社やその仕事について調べています。そこで、カーデザイナーという職業に出合いました。カーデザイナーは、新しい自動車のボディや内装のデザインをする仕事です。車のデザインによって、見た目の美しさだけでなく、安全性や使いやすさなどにも大きく影響します。

私は、乗る人みんながリラックスできる車をデザインしたいです。近い将来、私がデザインした車が走る街の景色を父や母に見てもらいたいです。

お子さまの学力・個性に合わせた学習プランを提案します
読む力・考える力――伸びる学力
学研教室
幼児/算数・数学・国語/英語
学研教室は新学習指導要領に対応
お近くの教室はこちらから
㈱学研エデュケーショナル　学研教室 長崎事務局
長崎市元船町13-5第2森谷ビル4F　☎095-824-7670
【先生のお仕事に興味のある方はこちらから】➡

長崎県PTA連合会　24時間365日補償　団体割引適用
2022年1月現在の内容です。
「小・中学生総合保障制度」
中途加入をご希望の方は、
手続方法をご案内致しますので、
保障制度係までご連絡ください。
詳しくはパンフレットをご覧ください
GIGAスクール構想の
貸与パソコン
破損・紛失・盗難も補償
(S-220398　2023-06)
◎制度に関するお問合わせ先（取扱代理店 エーアイ）
「小・中学生総合保障制度」係　☎095-820-5882
長崎市万才町6-34（エーアイ内）
【引受保険会社】●AIG損害保険(株)(幹事)　●東京海上日動　●あいおいニッセイ同和損保　●三井住友海上　●損保ジャパン